

國名及地名	鐵鑛種類	現存の鑛量		將來有り得べき推定鑛量	
		鐵鑛量	相當鐵量	鐵鑛量	相當鐵量
亞細亞露西亞					
キルギス、ステツプ	磁鐵鑛	—	—	七	四、二
東部西伯利亞	同	—	—	一四	七、六
極東	磁鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛	—	—	六	三
合計				二七、十相當量	一四、八、十相當量
英領印度	磁鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛	一〇〇	六五	四〇〇、十相當量	二五〇、十相當量
支那	同	三七八	一九〇	蓋し莫大量	蓋し莫大量
日本	同	七〇	三五	三〇	一五
朝鮮	同	三〇	一五	三〇	一五
ヒリツピン諸島	磁鐵鑛、赤鐵鑛	六	三	四	二
英國領土	褐鐵鑛	二五	一三	多量	多量
蘭領殖民地	褐鐵鑛	一〇〇	五〇	同	同
合計		七〇九	三七一	四六四、十莫大量	二八〇、十莫大量

(イ) 亞細亞露西亞に於ける鐵鑛分布

亞細亞露西亞に於ける鐵鑛量は殆ど調査未了にして、主要なる鑛層はキルギススケツプ、タルキスタン、アルタイ及トムスク、東部シベリヤ極東沿岸地方に出現す、キルギススケツプに於て鐵鑛は銀及銅鑛に比し其量も少く現在に於て之等鑛層は未だ稼行されず、キルキスタンに於ける鐵鑛は現在經濟上價值あるものとは認められず單に理論上のものたるに過ぎざるへし、而してアルタイ、トムスク

省に於いても今日知られたる鐵鑛層は極めて微々たるものに過ぎず、東部シベリアに於ける鑛量は前表に示せる如く千四百萬噸にしてイエニセイスク、イルクツク兩省ヤクーツク州、外バイカル州を包括す、極東沿岸は相當含鐵層を有し前表示せる如く鐵鑛量六百萬噸と推定せらる、要するにアジアロシアに於ける既知の鑛量はタルキスタンを除き前表に示せる貳千七百萬噸と見れば大差なからむ。

#### (ロ) 英領印度に於ける鐵鑛分布

印度の鐵鑛は生成出現の狀態より

- 1 半島若しくはヒマラヤの古代岩石内に出現するもの
- 2 磁鐵鑛の細粒となりて花崗岩若しくは片岩内に傳播せるもの
- 3 ベンガル夾炭聯の粘土鐵鑛
- 4 Lateritic ore.

の四種になれり此内近時工業の點より觀察して尤も重要なるは第一の(A)古代岩石内に胚胎せるものにして此種の鐵鑛の主なる分布地は

I. <sup>マドラス</sup>Madras 州に於て

Salen:

山脈の絶壁をなせるところに鐵鑛露頭出現し鑛床は厚さ五十尺乃至百尺をなせる個所あり。

Nilgiris:

鐵鑛の多量は Nilgiris Hill の高原に片麻岩内に赤鐵鑛の帯となりて出現せり、尤も重大なる鐵鑛は Kotagiri 附近にあるものなり。

49 Mysore State: